

南アフリカ為替週報

2023年8月24日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去1週間の動き＞

(8月17日～8月23日)

USD/ZAR: 18.4255～19.2532

ZAR/JPY: 7.59～7.85(参照値)

過去1週間の南ア・ランド相場は対ドル19.0近辺から18.5近辺まで約1%反発。対円・対ユーロでも持ち直している。引き続き、中国経済を巡る懸念が重石となっているものの、米金利低下に伴う市場全体のリスクセンチメントの改善がサポート要因となった。

経済指標では8月23日に消費者物価指数(7月分)が公表された。結果は前年同月比+4.7%と6月分の同+5.4%から低下し、市場予想の同+4.9%も下回った。前年比較時点の食料品やエネルギー価格の水準の高さから、前年比の計算上、インフレ率が低く「ベース効果」が働いているものの、食料・エネルギーを除いたコアの部分も6月分の前年同月比+5.0%から同+4.7%へと低下しており、インフレ圧力の緩和はサービスを含む幅広い項目で観察される。

8月初旬以降、しばらくランドの下落が続いていたこともあり、金利フォワードマーケットでは9月21日に控える南アフリカ準備銀行(SARB)の金融政策決定会合での利上げ再開の可能性が意識される展開となっていたが、ランドの持ち直しや7月のCPIの結果を受けて利上げ観測は完全に消滅した格好となっている。

＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/23	09:00	CPI(前年比%)	7月	4.9%	4.7%	5.4%
	09:00	コアCPI(前年比%)	7月	4.9%	4.7%	5%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう1週間の見通し＞

(8月24日～8月30日)

USD/ZAR: 18.00～20.00

ZAR/JPY: 7.10～8.10

今後1週間のランド相場は、外部環境、とりわけ中国経済に対する悲観論が後退するか、また8月上旬から中旬にかけて大幅に上昇した米金利の低下が続くか、によって上下に動くと思われるが、ランド相場を含めた資源国・新興国通貨の先行きに対しては依然として慎重に捉えたほうが良いと見ている。中国経済を巡っては、大手不動産企業のデフォルトリスクが金融システムにも影響を与える経路にまで懸念が広がっており、予断を許さないためだ。また、8月23日に公表されたユーロ圏主要国及び英国のPMIの弱い結果を見る限り、「米国一人勝ちに伴うドル高」が続く可能性が高いことも、資源国・新興国通貨にとっては逆風となる。

南ア国内の要因では、来週は目立った経済指標の発表が予定されていない。強いて挙げるとすれば、8月22日から開催されているBRICSサミットが注目される。BRICSの参加国の拡大、共通通貨の導入に向けた議論は抑える必要があるだろう。また、中国が南アフリカへの投資の拡大を表明した点も注目される。市場の一部では8月22日から23日にかけてランドの上昇が続いた一因にも取り沙汰されている。現在のところ具体性には乏しいものの、南アの経済の重大なブレーキとなっている電力部門での協力の拡大が検討されていると見られる。

＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

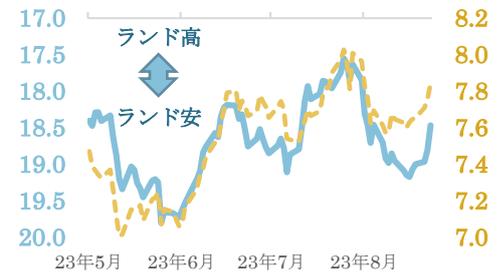
月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
8/22-24		BRICSサミット				

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

南ア・ランドの推移

実線:対ドルレート(左軸、逆目盛)

点線:対円レート(右軸)



南アフリカ CPI

実線:ヘッドライン

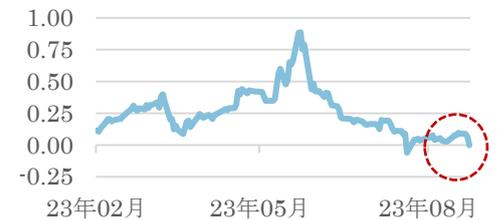
点線:コアCPI

(前年比%)



南アフリカ 2か月後金利織り込み(*)

(%ポイント)



* 2か月後スタート期間3か月のフォワードレートから、3か月JIBARを差し引いている。

(資料:ブルームバーグ)

＜文責＞

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

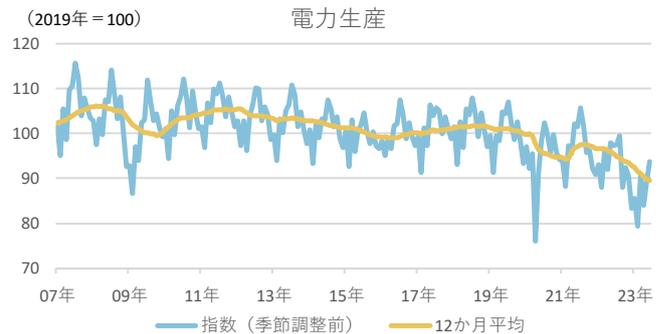
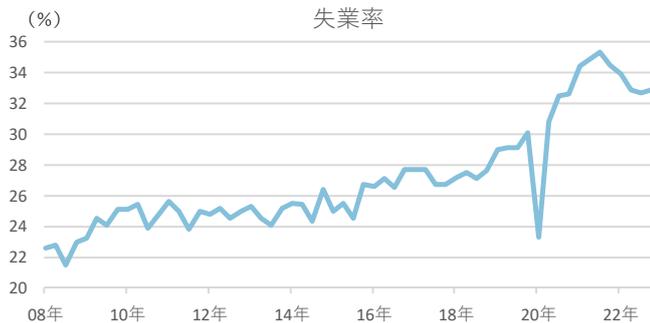
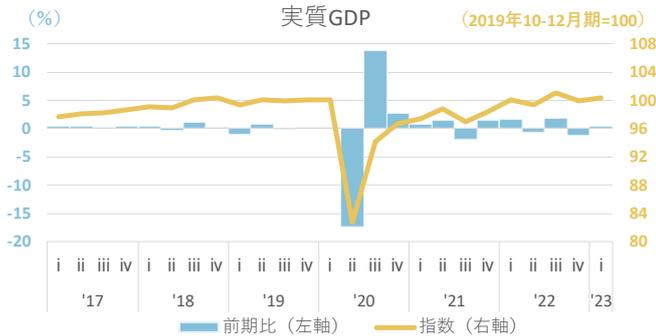
中島 将行

masayuki.nakajima@mhcb.co.uk

南アフリカ為替週報

2023年8月24日 | みずほ銀行欧州資金部

＜主要経済指標の推移＞



* 1 : BERサーベイは南アフリカ経済調査局 (Bureau for Economic Research) による四半期ごとの調査。

経済アナリストや企業などが調査対象となっている。

ブレイクイーブンインフレ率は物価連動国債から算出される、市場が推測する期待インフレ率。

* 2 : 月次データ。ただし、2023年8月は1日から22日までの累計値。

(資料 ; 南アフリカ準備銀行/南アフリカ統計局/南アフリカ経済調査局/ヨハネスブルク証券取引所/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。